



いのちをつなぐ

—中国四国地方9県の安心ネットワーク

日本赤十字社では、需要に見合った輸血用血液の確保および血漿分画製剤の国内自給に向けた原料血漿の確保を始め、医療機関の要請に対し、よりの確に対応するための体制整備を目的として、平成24年4月に都道府県単位の運営体制からブロックを単位とした広域事業運営体制に変更しました。新たに全国に設置した7つのブロック血液センターが各地方の司令塔的役割を担っています。

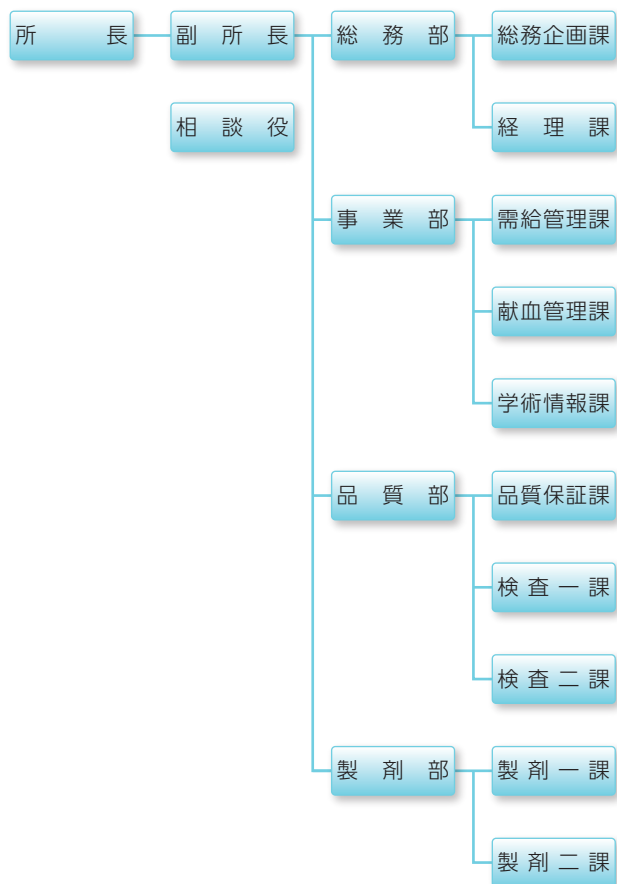
この社屋では、中国5県、四国4県、計9県の検査業務および製剤業務を実施しています。また中国四国地方の献血者受入状況や輸血用血液製剤の保有状況等を常に把握し、県の枠を超えた広域的な需給管理を展開することで、業務の効率化・合理化を図り、輸血用血液製剤の安全性の向上と安定的な供給の確保を達成するため、円滑な事業運営を行っています。

皆さまには、より一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

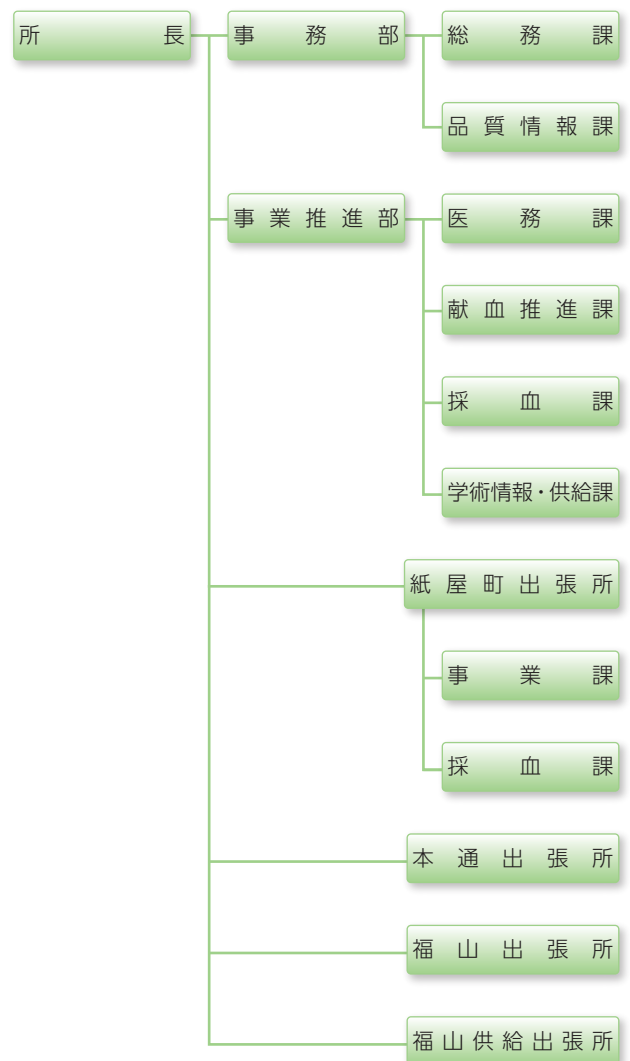


組織図

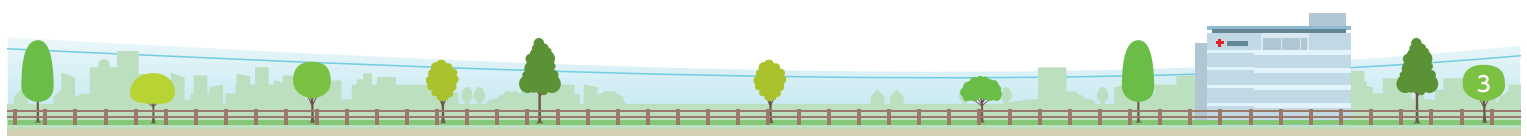
中四国ブロック血液センター



広島県赤十字血液センター



(令和2年4月1日現在)



施設概要

この社屋は、日本赤十字社中四国ブロック血液センターと広島県赤十字血液センターの合同社屋として平成24年5月に竣工しました。1階および2階は、主に広島県赤十字血液センター、3階から6階が中四国ブロック血液センターとなっています。

各フロアは、1階は供給部門、2階は献血推進や需給管理部門、3階は製剤部門、4階は品質管理部門、5階は検査部門となっています。

特徴として、将来献血の担い手となる小学生を対象とし、献血や輸血をはじめ血液に関する知識や赤十字の様々な活動について体験しながら楽しく学んでいただける情報発信スペース「赤十字プラザ」を1階に設置しています。

この他、建物西側には元安川の美しい景観が望めることができ、地域の皆さまの交流の場となる「リバーサイドテラス」、「ボランティアルーム」を併設しています。

広島市内中心部に位置し、地域との交流を深めるための機能を有しています。

所在地：広島県広島市中区千田町2丁目5番5号

代表電話：中四国ブロック血液センター

TEL 082-241-1311

広島県赤十字血液センター

TEL 082-241-1246

建物構造：鉄骨造 地上6階建て 搭屋1層

敷地面積：8,191.19㎡

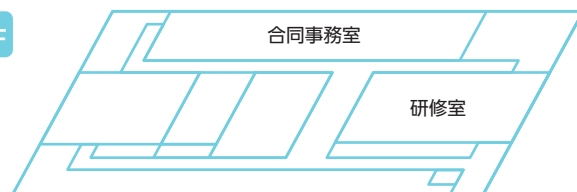
建物面積：3,270.05㎡

延床面積：13,736.19㎡

設計監理：株式会社 梓設計

施工：株式会社 大林組広島支店

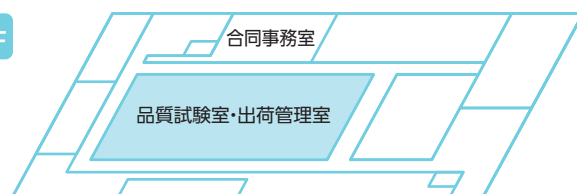
6F



5F



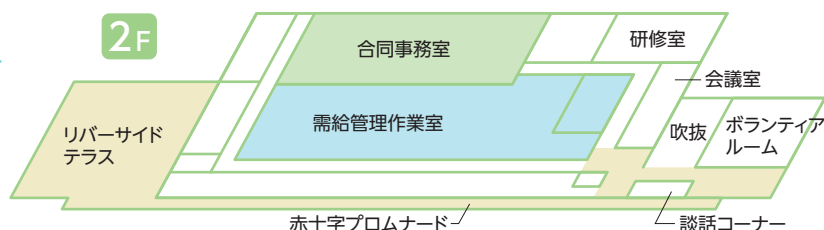
4F



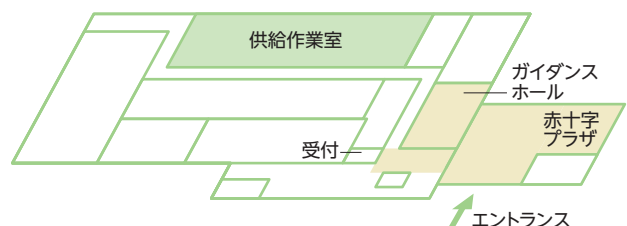
3F



2F



1F



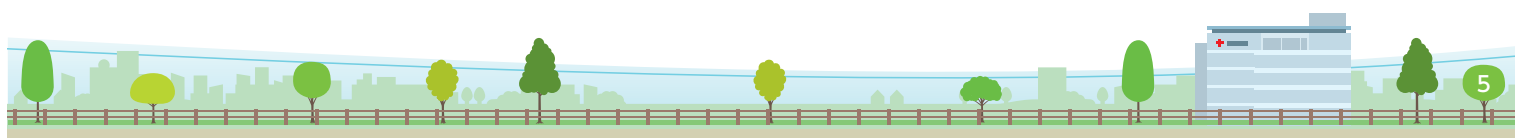
1F 赤十字プラザ



赤十字プラザは、小学生を対象として、献血年齢に達していない若年層に血液や輸血・献血について、観て・触れて・楽しみながら学ぶ、「献血」がわかる!体験型見学スペースです。

血液事業や血液センターの仕事を映像で学んだり、献血後の血液のゆくえを実際に見学することで「献血」を身近に感じていただけます。

また、輸血の歴史や輸血の知識について学ぶことで自分の体を流れる血液のことや健康について興味を持っていただき、人が人を支える「献血」の重要性についての理解を促します。



1F 供給部門

(広島県赤十字血液センター)

供給作業室

学術情報・供給課



安心をお届けする
輸血を必要とされる全ての患者さんのために

供給部門は、365日24時間体制で、医療機関からの輸血用血液製剤の依頼に対応しています。

また、輸血用血液製剤は、医療機関に供給されるまでの間、それぞれの製剤に適した状態で品質を維持し保管しています。

さらに、みなさまの模範となるような運転を心がけるとともに、より安全で安定した輸血用血液製剤の供給を行うよう努めています。



2F 献血推進部門

(広島県赤十字血液センター)

合同事務室

医務課/献血推進課/採血課

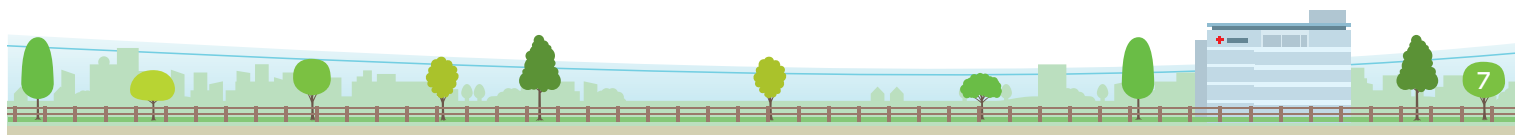


ひろがる献血の輪

輸血用血液製剤の安定供給実現をめざして

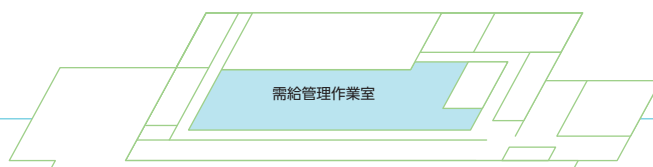
献血推進部門は、少子高齢化に伴う献血可能人口の減少と高齢化の進展による血液製剤の需要拡大に伴う輸血用血液製剤の安定確保対策として、将来を担う幼少期を含む若年層を中心に、命の尊さ・つながる命や献血の必要性についての普及活動に努めています。

また、必要な機材を車内に搭載した移動献血バスで県内の地域・企業・学校などに出向き、県民のみなさまに献血のご協力をお願いしています。



2F 事業部門 (中四国ブロック血液センター)

需給管理課



必要な時に必要な血液を…
安定供給の維持向上に向けて

事業部門は、中国四国地方9県の医療機関が必要とする輸血用血液製剤を安定的且つ速やかに供給するため、24時間体制で確保調整および管理を行っています。

また、今後の出庫予測などを考慮し、必要な血液を確保するために中四国ブロック内の血液センターと型別や種類別の献血依頼などの調整を行い、常に安定供給の維持を図っています。

血液製剤の大量供給や災害発生時など中国四国地方での確保が難しい場合は、全国規模での血液製剤の確保調整も行っています。



製剤一課/製剤二課



すべての人の思いに応える
迅速かつ確実に高品質な血液製剤を

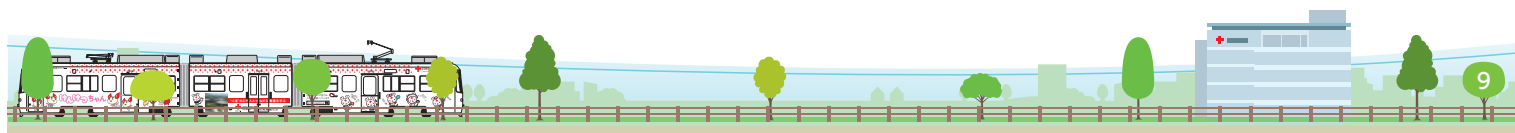
製剤部門は、中国四国地方9県で献血していただいた血液を血液製剤にするための調製を行っています。

現在の輸血医療は、血液中に必要な成分（赤血球、血漿、血小板）のみを輸血する成分輸血が主流であるため、全血献血による血液は、各成分の比重を利用して赤血球、血漿に分離します。調製された製剤は、検査結果と照合し、全ての検査項目に合格した血液のみが輸血用血液製剤または血漿分画製剤用原料となります。

全ての血液は、輸血に伴う発熱などの副作用を予防するために保存前白血球除去を実施しています。また、一部の製剤を除き、輸血後のGVHD※を予防するために放射線をあてた輸血用血液製剤を製造しています。

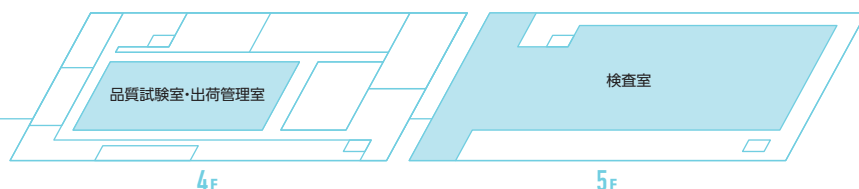


※GVHD (Graft Versus Host Disease: 移植片対宿主病) は、輸血した血液の細胞 (移植片) が患者さん (宿主) の体内で生着・増殖し、その細胞が患者さんの細胞を「異物」として攻撃する致死率の高い病気です。



4・5F 品質部門 (中四国ブロック血液センター)

品質保証課/検査一課/検査二課

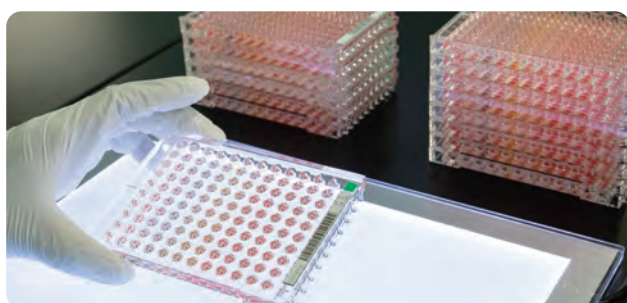


安心を根底から支える
万全の品質管理体制で安全性を確保

品質部門は、中国四国地方9県で献血していただいた血液を安全な輸血用血液製剤として医療機関にお届けすることを目的に、血液型検査、HLA検査、感染症予防のための抗原・抗体検査および核酸増幅検査を行っています。

さらに献血にご協力いただいた方々へ感謝の気持ちとして、生化学検査や血球計数検査を実施し、ABO・Rh(D) 血液型検査の結果とともにお知らせしています。

また、医薬品医療機器等法等に基づき、“医薬品としての輸血用血液製剤”の品質を確保するための品質管理業務を行っています。



効率的な事業運営体制を確立

中四国ブロック内各血液センターのご案内



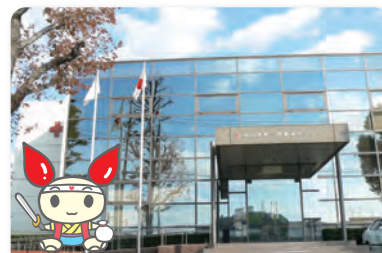
島根県赤十字血液センター

〒690-0882 松江市大輪町420-21
TEL 0852-23-9467



鳥取県赤十字血液センター

〒680-0901 鳥取市江津370-1
TEL 0857-24-8101



岡山県赤十字血液センター

〒700-0012 岡山市北区いずみ町3-36
TEL 086-255-1211



山口県赤十字血液センター

〒753-8534 山口市野田172-5
TEL 083-922-6866



愛媛県赤十字血液センター

〒791-8036 松山市高岡町80番地1
TEL 089-973-0700



高知県赤十字血液センター

〒783-0043 南国市岡豊町小蓮448
TEL 088-866-6660



香川県赤十字血液センター

〒761-8031 高松市郷東町字新開587-1
TEL 087-881-1500



徳島県赤十字血液センター

〒770-0044 徳島市庄町3丁目12-1
TEL 088-631-3200

